別表３　第12号様式別紙１

事業結果報告書

１　補助事業の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者氏名（法人等の場合は名称及び代表者の職・氏名） | 　 |
| 補助事業で設置する設備の使用者氏名（申請者がリース事業者又は割賦事業者の場合に記載） |  |
| 補助事業で設置する設備を設置した住宅等について（該当する□に「🗸」を記載） | 所在地（住居表示が確定していない場合は地番も記載） |  |
| 種別 | □住宅□事業所 |
| 取得の別 | 有 | □新築　　□建売　　□その他 |
| 無 | □既存住宅　（□改築あり） |
| 併用する県の補助金 | □神奈川県自家消費型太陽光発電等導入費補助金□神奈川県既存住宅省エネ改修費補助金 |
| 事業着手日※１ |  　　　年 　　　月 　　　日　 |
|
| 事業完了日※２ |  　　　年 　　　月 　　　日 | （　） |
|
| 設置した蓄電システム等の所有権は全て申請者に移転済みである | □はい　　□いいえ |

※１　蓄電システム等が設置された建売住宅等の引渡しを受け取得する場合は、当該住宅等の引渡し日、その他の場合は、蓄電システム等の設置工事の着工日を記載してください。

※２　次の事項のうち、最も遅い日を記載し、（　）に該当する番号を記載してください。

(1) 新たに導入した太陽光発電システム及び蓄電システム等又は新たに導入した太陽光発電システム及び蓄電システム等が設置された住宅等の引渡し

(2) 新たに導入した太陽光発電システム及び蓄電システム等又は新たに導入した太陽光発電システム及び蓄電システム等が設置された住宅等の代金の支払完了

(3) 新たに導入した太陽光発電システム及び蓄電システム等の設置工事の完了

２　設備の概要

神奈川県蓄電システム導入費補助金実施要領を「実施要領」と記しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （１）蓄電システム関係 | ①蓄電システムのメーカー名 |  |
| ②パッケージ型番 |  |
| ③パワーコンディショナー　の公称最大出力 及び接続する太陽電池モジュールの出力※１ | (一台目)(型式番号: 　　　　)　　　　　　 kW ( kW)（小数点第３位以下切捨て） |
| ④蓄電容量 | kWh（小数点第３位以下切捨て） |
| （２）太陽電池モジュール関係 | ①太陽電池モジュールのメーカー名 |  |
| ②太陽電池モジュールの公称最大出力※１と使用枚数 | (型式番号: 　　　　) W × 枚 ＝ W(型式番号: 　　　　) W × 枚 ＝ 　 　　 W(型式番号: 　　　　　) W × 枚 ＝ 　 　　 W(型式番号: 　　　　　) W × 枚 ＝ 　 　　 W太陽電池の公称最大出力　⇒　（合計）　　　　　　 kW（合計はキロワット表示で小数点第３位以下切捨て） |
| 以下の③・④は、太陽電池モジュールの専用パワーコンディショナーを設置する場合に記載 |
| ③パワーコンディショナーのメーカー名 |  |
| ④パワーコンディショナー　の公称最大出力 及び接続する太陽電池モジュールの出力※１ | (二台目)(型式番号: 　　　　)　　　　　　 kW ( kW)(三台目)(型式番号: 　　　　)　　　　　　 kW ( kW)（小数点第３位以下切捨て） |
| 設置する設備の要件※２(該当する□に「🗸」) | 上記の設備は全て実施要領に定める設備に係る要件を満たす設備である | □はい　□いいえ |
| 上記の設備は全て未使用品である※電気自動車のリユースバッテリーを使用して製品化した蓄電システムであって、蓄電システムとして製品化された後の使用実績がないものは未使用品とみなす。 | □はい　□いいえ |
| 設備の機能の要件※２(該当する□に「🗸」) | 上記の設備は、停電時(自立運転時)においても操作を行うことなく、太陽光発電システムで発電された電力を蓄電システムに充電できる | □はい　□いいえ |
| 上記の設備は、停電時(自立運転時)においても操作を行うことなく、蓄電システムに充電した電力を、補助事業を実施する住宅等で、通常時に使用可能な電気機器の全部又は一部に使用できる | □はい　□いいえ |

※１　日本工業規格に規定される公称最大出力をいう。

※２　ひとつでも「いいえ」がある場合は、補助事業の対象外

３　補助事業に係る経費の内訳 (単位：円)

|  |  |
| --- | --- |
| 蓄電システム等の導入に係る経費（**Ａ＝Ｂ＋Ｃ**） | 円 |
| 蓄電システム等の設備費（消費税及び地方消費税相当額を除く。）（**Ｂ**） | 円 |
| 　（うち電池部分にかかる経費） | ( 円) |
| 　（うちパワーコンディショナーにかかる経費） | ( 円) |
| 　（うち非常用電気設備にかかる経費） | ( 円) |
| （その他(モニター、ケーブル等)の設備費） | ( 円) |
| 蓄電システム等の工事費（消費税及び地方消費税相当額を除く。）（**Ｃ**） | 円 |
| 国等の補助金を受ける場合、その金額（蓄電システム等該当額）（**Ｄ**） | 円 |
| 補助対象経費（**Ｅ＝Ａ－Ｄ**） | 円 |
| 補助対象経費に３分の１を乗じた額（**Ｆ＝Ｅ／３**） | 円 |
| 設備の種類ごとの上限額（**Ｇ**）※以下のとおり該当する種別に応じ定められている上限額を右に記載してください。・蓄電システム等（住宅用）　　　　　→150,000円・蓄電システム等（事業所用）産業用蓄電システムを導入する場合 　　　　　　　 →2,000,000円 　複数の蓄電システムを導入する場合 →導入する蓄電システムの台数×150,000円 | 円 |
| 予定額（（**Ｆ**）又は（**Ｇ**）のうち、いずれか低い額）**（Ｈ）**  | 円 |
| **補助金交付申請額****・太陽光発電の導入量が2kW未満の場合　→申請額 =（Ｈ）×1/2****・太陽光発電の導入量が2kW以上の場合　→申請額 =（Ｈ）**（千円未満を切捨て） | **円** |